

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

Mission

海の恵みを絶やすことなく世界中の人々に届け続ける

国内養殖量
3,476トン

2 中長期の経営戦略

1. 国内養殖規模の拡大

サーモン養殖を成長エンジンとし、2025年4-7月の3,476トンから順次拡大。北日本の養殖適地を活用し、設備投資を継続

2. 国内養殖の効率性向上

屋外循環式大規模中間育成システムや給餌用バージ船を導入。デンマーク子会社Musholm A/Sの先進技術を取り入れ養殖技術を確立

3. 海外卸売事業の強化

シンガポール・マレーシア・台湾・タイに子会社を展開。超低温倉庫（-60℃）によるコールドチェーンを拡充。ハラール対応強化

3 対処すべき課題

① 養殖事業

- ・ 中間養殖場確保が課題。適地選定・地元調整・設備投資資金確保を中長期視点で推進
- ・ 国内養殖の効率性向上が重要。デンマーク技術導入で先進国並みの養殖技術を確立

② 海外卸売事業

- ・ アジアの日本食マーケット成長を取り込む。配送・保管設備増強と新規顧客開拓が課題

③ 基盤強化と持続性

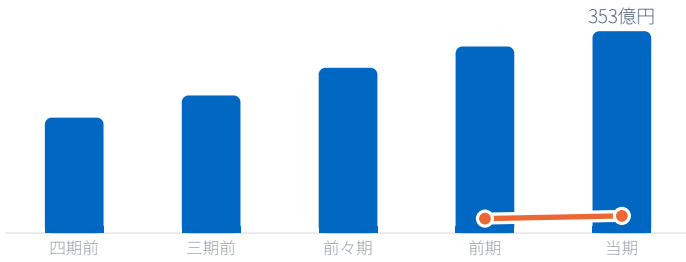
- ・ 加工拠点分散によるリスク低減。従業員教育で品質・効率性を向上
- ・ 食品表示含む品質管理体制強化。ASC・MSC認証原料推進で持続可能な調達を実現
- ・ 地域との信頼関係構築。青森やミャンマーでの雇用創出を通じて地域貢献

面接で使えるポイント

- ・ 日本の水産業を衰退産業から成長産業に転換させ、4つの事業柱でグローバル展開を目指す経営戦略
- ・ 2025年4-7月3,476トンからの国内養殖拡大と、デンマーク子会社Musholm A/Sの先進技術活用
- ・ シンガポール-60℃超低温倉庫やマレーシアハラール対応など、アジア日本食マーケットの成長を捉える卸売事業

証券コード 2938

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
353億円営業利益率
8.5%財務健康度
45点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 46.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
610万円
食料品内 70位/120社平均年齢
39.15歳
食料品内 103位/121社平均勤続
5.78年
食料品内 111位/121社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)オカムラ食品工業【2938】：決算情報

